

「地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子ども」を育てる

## コミュニティ・スクール 通信

令和3年度 第7号 12月1日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



### 地域の美化に貢献 日の里学園「クリーン作戦」

11月25日（木）に、日の里学園の2学期の交流活動「クリーン作戦」が行われました。気持ちのよい天候の中、午前中は東小と西小の4年生がリーダーとなり、1～4年生で協力し合って、それぞれの学校の敷地内をきれいにしました。

午後からは中学校の9年生がリーダーとなり、小学校5～6年生と中学校7～9年生で協力して、日の里地区の7つの公園や東郷駅前大通りをはじめとする主要道路、学校の周りなどのゴミ拾いや落ち葉拾いなどの清掃活動を行いました。

小中学生が協力して地域を美しくする活動をする中で、学園のつながりを感じ合うとともに、地域貢献のやりがいやすがすがしさ、日の里を普段から美しく保ってくれている方々への感謝の気持ちなどを感じることができたと思います。

本年度の「クリーン作戦」では、生活環境部会長の松下さん（東小）と副部会長の藤井さん（西小）の挨拶があり、この行事のすばらしさをほめていただきました。また、子どもたちの姿を見られた地域の方々が、ねぎらいや感謝のことばをかけてくださいました。ありがとうございました。



### 秋の「東郷駅前花いっぱい運動」

「東郷駅前花いっぱい運動」は、コミセンの生活環境部会や青少年指導員会と協働して実施している、日の里学園の「地域に貢献する教育活動」の1つです。今年度は春に日の里東小の4年生が取り組み、秋は11月9日（火）から17日（水）にかけて、日の里西小の4年生が取り組みました。児童たちは、14個のプランターにそれぞれの思いをデザインし、土を入れ、花苗を植えて、東郷駅前に設置しました。

プランターのデザインには、児童たちの「日の里を魅力ある元気なまちにしたい」とか「まちびらき50周年をお祝いしたい」という思いが込められています。花苗はパンジーで、来年春まで美しい花を咲かせます。

写真は、コミセン生活環境部会の松下会長が児童に依頼をしている場面、デザインを完成させている場面、青少年指導員会の方の支援を受けてプランターに花苗を植えている場面、そしてプランターを駅前に設置している場面です。日の里地域に形に残る貢献ができて、児童たちはやりがいや喜びを感じていました。日の里学園ではこれからも、地域を美しく、元気にする活動を続けていきます。



